



# トマト編



病害虫注意報  
2018年7月作成

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

## 育苗期定植時の防除特集

黄化葉巻病は定植後の生育初期に発病株が急増します！

### おすすめローテーション

主な感染時期は育苗期後半から生育初期と考えられています。  
粒剤や黄色粘着板等を活用して防除していきましょう！

①	<b>ダントツ水溶剤</b> 2,000～4,000倍 前日/3回 (ハチ15日) ※ハチグリバI類は2,000倍	コナジラミ類、アブラムシ類 ハチグリバI類
②	<b>カウンター乳剤</b> 2,000～3,000倍 1番花の開花まで/4回 (ハチ1日) ※ハチグリバI類、アザミヤ類は2,000倍	コナジラミ類、ハチグリバI類 アザミヤ類、オタバコガ、ハスモンヨトウ
③	<b>ベストガード水溶剤</b> 1,000～2,000倍 前日/3回 (ハチ10日以上)	コナジラミ類、アブラムシ類 アザミヤ類

## 育苗期・定植時 コナジラミ類 おすすめ防除

※ハチの影響日数を考慮していずれかを選択してください。

下記粒剤は時期によって**使用方法**が異なります。ラベルをよく確認してご使用ください。

**ベリマークSC 薬量25ml/400株**  
(ハチ影響日数1日) 水量10～20L/400株

灌注剤

※定植3～5日前処理が  
オススメです！

**アルバリン粒剤 1～2g/株**  
(セイヨウマルハナバチ：10日  
クロマルハナバチ：22日)

粒剤

※育苗期1回、定植時1回ずつ  
使用可能です！

**ベストガード粒剤 1～2g/株**  
(ハチ影響日数30日以上)

粒剤

※育苗期に処理した場合、  
定植時には使用できません！

粒剤施用例



育苗期 株元処理



定植時 植穴土壌混和

### 物理的防除を併用しましょう！

周辺雑草をしっかり除草！  
コナジラミの発生源となります！

**黄色粘着板で捕殺**

株の新芽あたりに  
ぶら下げておくと効果的！

**ネットの目合いは0.4mm以下**

これより大きい目合いだと  
コナジラミが通過してしまいます

### 新規登録情報

6月5日  
発売開始！

## ファインセーブフロアブル

【登録内容】

外コナジラミ類(シバ-リーフ含)  
トマトバグニ、アザミヤ類

100～300L/10a 散布 収穫前日/3回  
1,000倍 (アザミヤ類1000～2,000倍)

クロマルハナバチ影響日数1日  
(セイヨウマルハナバチは調査中)

※ミトM登録なし



### 変更情報

## トランスフォーム フロアブル

ハチ影響日数変更！

マルハナバチ 2日

↓  
**2～5日**  
ご注意ください！

